

Sound

vol. 65

2025 SPRING

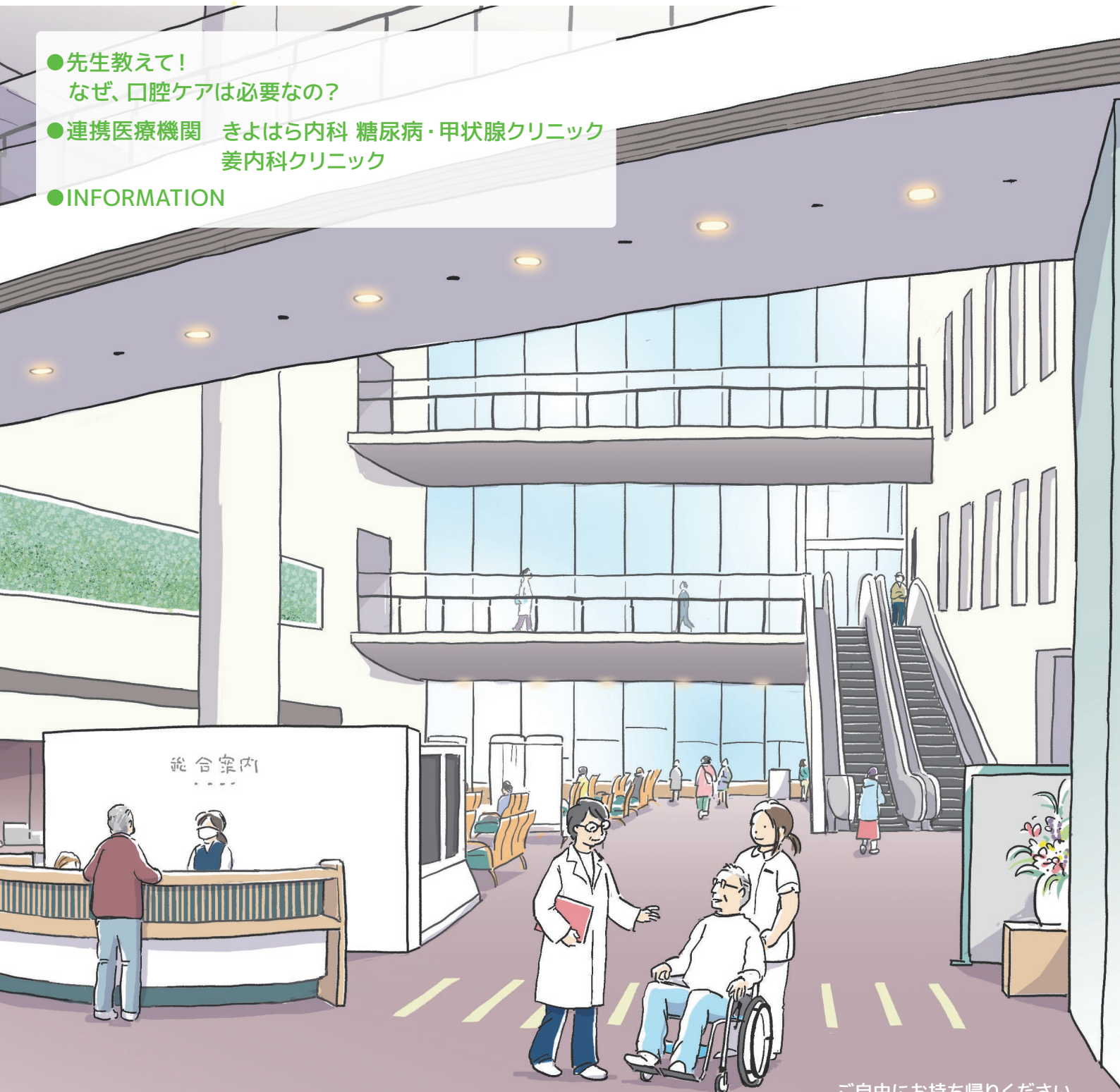
住友病院だより【さうんど】

特集

根治性を損なわず、神経や副甲状腺の
温存と整容性にも配慮する

甲状腺センター

- 先生教えて！
なぜ、口腔ケアは必要なの？
- 連携医療機関 きよはら内科 糖尿病・甲状腺クリニック
姜内科クリニック
- INFORMATION



根治性を損なわず、神経や副甲状腺の温存と整容性にも配慮する

甲状腺センター

耳鼻咽喉科は幅広い領域を専門としていますが、住友病院では頭頸部外科を併称し多くの手術治療を行っているほか、甲状腺疾患を扱うセンターも設け専門性の高い治療を提供しています。甲状腺疾患専門病院での勤務経験が長く、耳鼻咽喉科診療主任部長と甲状腺センター長を兼任する笹井久徳先生に当科の取り組みについて聞きました。

耳鼻咽喉科の診療領域

耳鼻咽喉科が治療を担う疾患としてアレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、扁桃炎、難聴などをイメージされることが多いでしょう。当科ではこのほかにも、めまい、顔面神経麻痺、甲状腺を含めた頭頸部の腫瘍など幅広い疾患を扱っています。

めまいは脳が原因と思われる方が多いですが、実は耳石が三半規管に入り込んだことよって起こる「良性発作性頭位めまい症」が半数以上を占めています。治療としては、三半規管の中に漂っている耳石を一カ所に集めるよう頭部を動かす処置を行います。

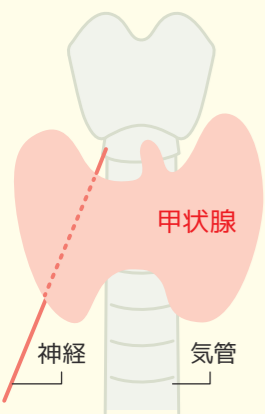
また、顔面神経麻痺はヘルペスウイルスなどによる顔面神経の炎症が原因とされており、ステロイドで炎症を抑える治療を行います。治療が遅れると後遺症が残ることもありますので、早期の受診をお勧めしています。



甲状腺センター 当院における甲状腺センターの役割と治療

当院の耳鼻咽喉科で行う手術の9割は甲状腺疾患が占めており、昨年は年間で224件の手術を行いました。関西でもトップレベルの手術件数であり、甲状腺疾患に特化した病院と言えるでしょう。このように甲状腺疾患に対して高い水準の手術治療を提供していることから**甲状腺センター**を設け、甲状腺疾患に苦しむ多くの患者さまを診療しています。

甲状腺はのど仏のすぐ下あたり、気管の前にある蝶が羽を広げたような形の臓器です。その役割は甲状腺ホルモンを生成し、細胞の新陳代謝を調整する働きがあります。



甲状腺疾患としてもっとも有名なのは「**バセドウ病(甲状腺機能亢進症)**」でしょう。甲状腺ホルモンを多く生成することで新陳代謝が促進され、疲れやすい、汗をかく、体重が減る、イライラするといった症状が表れる疾患で、そのままでは心臓などさまざまな臓器に負担がかかるようになります。逆に甲状腺ホルモンが減少する病気として「**橋本病(慢性甲状腺炎)**」があります。こちらは全身の機能が低下し、疲労感、寒気、記憶力の低下といった症状が表れます。このほかの主な甲状腺疾患として、**甲状腺腫瘍**が挙げられます。

バセドウ病の治療は、まず生活習慣の改善や投薬治療から始めます。しかし、薬の副作用が激しい、寛解しない、眼が突出するバセドウ病眼症があるといった症状に対し早

期治療を望む方には手術適用となり、甲状腺を摘出します。**甲状腺疾患は女性に多い**という特徴があり、目立つ傷痕は手術をためらう理由にもなってしまうます。こうした整容面の問題にも配慮すべきという考えから、当院では横一文字に切開し、シワがあればシワに沿って切ったり、形成外科医が扱う縫合法を用い

るなど、可能な限り傷痕が目立たなくなるよう工夫しています。



甲状腺手術の傷口

耳鼻咽喉科診療主任部長
兼甲状腺センター長

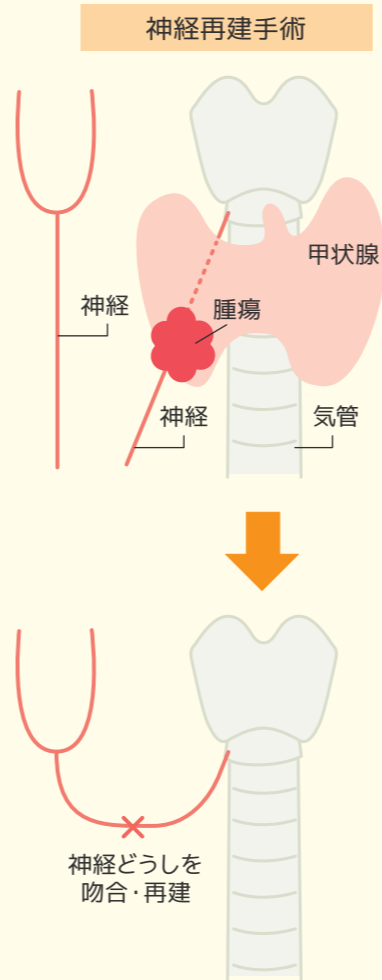
Sasai Hisanori
笹井久徳



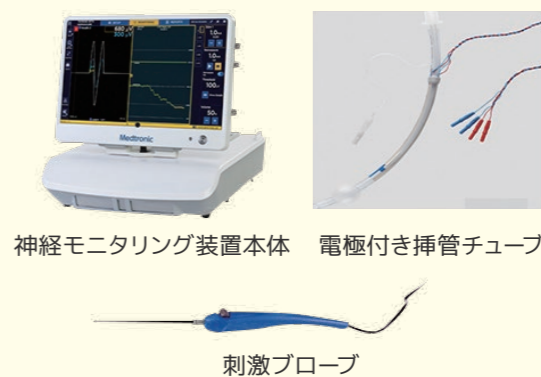
甲状腺の手術

甲状腺の背面には声帯を動かす反回神経が密着しており、非常に細い神経であるため甲状腺から剥離する際は高度な技術を要します。また甲状腺の周囲には高い声を出すための上喉頭神経外枝も通っており、こちらはさらに細く、髪の毛ほどの直径しかありません。これらの神経の働きが低下すると、声がかすれたり高い声が出なくなるなど、日常生活に支障をきたす恐れがあります。そのため、当院では手術中に**神経刺激装置**を用い、**術中神経モニタリング(IONM)**を行うことで神経の状態を確認しながら

慎重に手術を進めています。甲状腺がんで声帯の神経と一緒に切除する必要がある場合も、**神経再建を行うことで9割ほどは元に近い声質に戻すことができます。**



術中神経モニタリング (IONM)



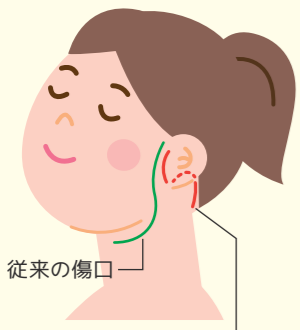
甲状腺を切除する手術では、一般的に副甲状腺も同時に切除することも多いのですが、副甲状腺を切除してしまうと、毎日大量のカルシウムの粉薬やビタミンDを補う薬を生涯飲み続けなければならなくなることに加え、薬の調整が難しいと腎臓を傷めるリスクもあります。そんな不便を回避するため、当院では**可能な限り副甲状腺を体に戻す処置を行い、身体機能を維持**できるように努めています。

甲状腺の手術にともなう傷痕を最小限に抑えるため、小さな切開にとどめられる内視鏡手術を扱う施設もあります。しかし、まだまだ適応となる疾患は少なく、声帯や高音を出すための神経を温存・再建したり、副甲状腺の機能を残すことにも配慮しながら、病変組織を取り除いて根治をめざすため、当院では**広い術野を確保し作業性も高い切開による手術を採用**しています。もちろん先述の通り手術の痕を目立ちにくくし、患者さまのQOLへの配慮にも注力していますが、あくまで治療としての根治性を損なわない点を重視しての選択です。

頭頸部腫瘍

首から上、脳と眼以外の領域のすべての腫瘍を頭頸部腫瘍と呼びます。先述の甲状腺センターで扱う甲状腺腫瘍もこの中に分類されます。

甲状腺腫瘍のほか、唾液を分泌する器官にできる耳下腺腫瘍も多く扱っています。耳下腺には顔面神経が通っており、一度傷つけてしまうと神経再建をしても顔面神経麻痺を残す恐れがあります。神経を傷つけないよう、神経刺激装置を使用し細心の注意を払って手術を進めることが重要です。



頭頸部腫瘍切除後の傷口

耳の前からうしろを通して生え際にかけて切るので傷口が目立ちません。

嚥下障害

耳下腺腫瘍も女性に多い疾患です。根治のためには手術しか方法がありませんが、傷痕が目立つ場所にできる点が懸念されます。そこで、**美容整形のフェイスリフトの手術法を応用し、耳の前から耳たぶを回って髪の毛の生え際まで切開することで、髪を下ろせば傷痕を隠せるようにし、整容面にも配慮**しています。

脳卒中の後遺症や加齢にともなう摂食嚥下障害は、高齢者にとって非常にリスクが高い誤嚥性肺炎の原因となります。耳鼻咽喉科では、見た目だけでは評価が難しい嚥下機能を検査し、**リハビリテーション科と連携しながら嚥下障害の治療**に携わっています。検査では鼻からファイバースコープを挿入した状態で喉の動きを確認したり、色



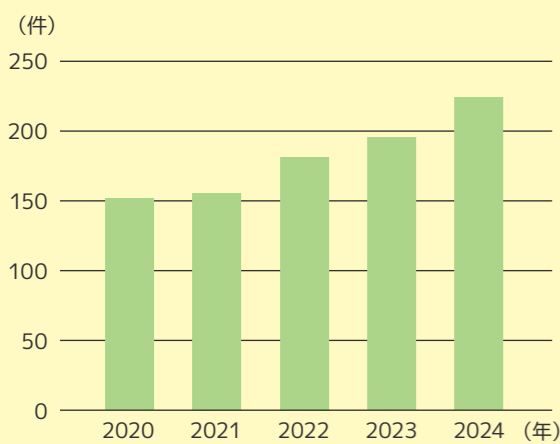
がついた水を飲んでいただくなどし、タイミング良く飲めているか、喉周辺に水が溜まっているか、誤って肺に入っていないかなどを直接見て、客観的な評価をしています。

す。当院では、嚥下障害が疑われる患者さまにはファイバースコープの検査を行い、適切な治療の提供につなげられるよう取り組んでいます。

甲状腺・副甲状腺手術実績

項目	年	2020	2021	2022	2023	2024
甲状腺・副甲状腺手術		150	155	180	195	224
内 甲状腺全摘				75	70	90
内 甲状腺片葉切除				95	112	121
内 副甲状腺摘出				10	13	13

※数字は件数





連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現をめざしています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

きよはら内科 糖尿病・甲状腺クリニック

診療科目：内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2 日本ライトハウスビル2F
TEL 06-6225-3220



●アクセス

Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅2番出口より徒歩すぐ



公式ホームページ

院長 清原 義幹 Yoshimoto Kiyohara



きよはら内科
糖尿病・甲状腺クリニック

昨年（2024年）5月に開院した、きよはら内科 糖尿病・甲状腺クリニック。清原義幹院長は、神戸大学医学部を卒業後、京都大学大学院医学研究科博士課程も修了されています。

▶清原院長は糖尿病や甲状腺疾患をはじめとする糖尿病、内分泌代謝科だけでなく総合内科の専門医でもいらっしゃいます。

はい、長年公的病院や民間病院で専門医として診療に携わってきました。特に糖尿病、内分泌代謝疾患は患者さまの生活背景に起因することが多いので、食生活や仕事内容などの生活環境をしっかり把握した上で、薬の種類選択を含めお一人おひとりに合った治療をすすめるよう心がけています。

▶クリニック内で大型の生化学・免疫自動分析装置を導入され、採血後30分程度で結果がわかるとは驚きです。

そうですね。早く結果が判明するだけでなく、一般生化学検査やHbA1c、甲状腺ホルモンなど充実した項目を測定できます。

▶さらにCT撮影装置も設置されています。

CT検査で思いもよらぬ病気が見つかることもあります。病気は早期発見・早期治療が理想です。そのため、院内の検査体制を整え、即日検査を実施し、もし気になる箇所がある場合、素早く基幹病院や専門病院で治療が開始できるようご紹介しています。

▶メッセージをお願いします。

ちょっとしたお身体のご不調など、些細なことでも気になることやお問い合わせがございましたらどうぞお気軽にご相談ください。

2018（平成30）年10月に甲状腺疾患・糖尿病を専門的に診るクリニックとして開院した姜内科クリニック。ビルの1階にありながら天井が高く開放感のある待合室が印象的です。

▶甲状腺疾患の患者さんが多いと聞きました。

はい。総合病院の内分泌内科に勤務しておりましたが、甲状腺についてさらに勉強したいとの思いで神戸にある専門病院（隈病院）に勤務しました。その経験を活かし、バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍等の甲状腺疾患、糖尿病や生活習慣病を専門的に診療しています。

▶先生ご自身も新しい情報を得ることを常に心がけているとか。

新薬がどんどん開発される糖尿病領域に比べ、甲状腺疾患については新しい情報を得にくいので、学会に参加したり、専門医との情報交換や新たな論文、研究データを常に確認したりして治療をアップデートするよう努めています。

▶医療は「人と人」だとおっしゃっています。

そうです。スタッフを含め、声かけや安心・満足できる雰囲気作りを心がけています。待ち時間も可能な限り短く、当クリニックに来てもらうメリットを感じてもらえるよう、初診の方でもその日のうちに検査結果がわかるよう迅速検査を導入しています。

▶メッセージをお願いします。

できるだけわかりやすく丁寧に説明して検査・診断・治療をすすめるようにしています。甲状腺や糖尿病のことで心配ごとがあれば安心してご相談ください。

かん 姜内科クリニック

診療科目：内科、糖尿病内科、甲状腺疾患

〒537-0014 大阪市東成区大今里西1-30-18
TEL 06-6971-2200
<https://www.kan-cl.com/>



院長 姜 信午 Shino Kan

●アクセス

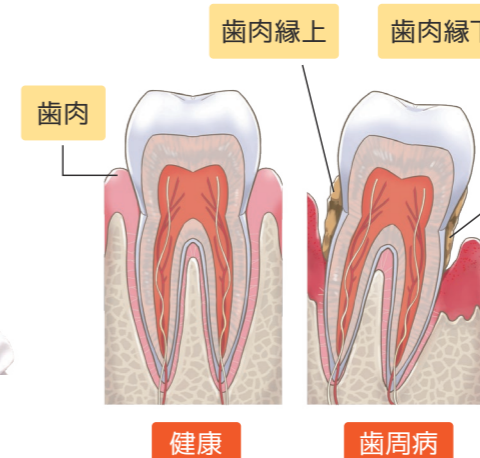
Osaka Metro千日前線「今里」駅3号出口より徒歩すぐ



公式ホームページ



歯科診療部長 Mori Yui 森 悠衣



健康

歯周病

歯肉縁上（歯肉から露出している部分）

唾液や酸素に触れやすく、虫歯菌が多い。

歯肉縁下（歯周ポケットの奥深く）

酸素に触れにくく、歯周病菌が多い。

?! 先生教えて！
なぜ、口腔ケアは必要なの？

口腔ケアは、虫歯や歯周病の予防だけでなく、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、さらには口腔機能の維持・向上のために重要です。

特に歯と歯肉の境目にたまる歯垢は、位置によって虫歯や歯周病の原因となる細菌の種類が異なります。

虫歯や歯周病の主な原因は歯垢（プラーク）であり、歯磨きを通じて歯垢を除去（ブラークコントロール）することで予防することができません。歯垢には1gあたり約1000億もの細菌が含まれていて、これらが血管内に入ると炎症を引き起こし、全身の健康にも悪影響をおよぼします。

このように、基本的な歯磨きをしっかりと行うことが、口腔内の健康維持に大きく貢献するのです。毎日の丁寧なケアを心がけ、健康的な口腔環境を保ちましょう！

そして、歯垢はうがいだけでは取り除くことができません。歯ブラシなどを使って物理的に除去する必要があります。

このように、基本的な歯磨きをしっかりと行うことが、口腔内の健康維持に大きく貢献するのです。毎日の丁寧なケアを心がけ、健康的な口腔環境を保ちましょう！



Attention!

エントランス総合案内リニューアルしました!

ご来院の皆さまがよりスムーズに受診できるよう総合案内をリニューアルいたしました。入口正面に新しい受付カウンターを設置し、常時スタッフ2名がご案内いたします。ご不明点などございましたら、お気軽に総合案内スタッフにお声がけください。

また、総合案内の横にデジタルサイネージを右横3面、左側4面設置し、当院の施設情報やお知らせ事項をご提供しています。地域の診療所情報等もご案内していますので、かかりつけ医をお探しの方はこちらもご利用ください。ご来院の皆さまにご満足いただけるよう今後もサービス向上に努めてまいります。



総合案内受付カウンター



デジタルサイネージ

「おなかのヘルニアセンター」開設

この度「おなかのヘルニアセンター」を開設しました。鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、臍ヘルニア(でべそ)は、主に傷口が非常に小さい腹腔鏡手術で治療します。鼠径ヘルニアに関しては、安全性の高いロボット支援下での治療も可能です。早期の社会復帰をご希望の場合は、日帰りでの治療もご相談ください。

また、臍ヘルニア治療では、メッシュという人工物をお腹の中に入れることが多く、合併症を起こすこともあります。当院ではメッシュの影響を最小

限にするため、筋肉の裏にメッシュを留置します(eTEP法)。多職種のスタッフが協力して治療にあたりますので、「おなかのヘルニア」の治療は、私たちにおまかせください。



2025年度 市民公開セミナーのご案内 対面およびオンライン開催を予定しています。

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しています。参加費は無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催日	テーマ(仮題)	担当科(予定)
2025年6月2日(月) 14:00~15:00	このもの忘れは大丈夫? ~認知症:早期発見・予防の重要性~	脳神経内科
9月25日(木) 14:00~15:00	食物アレルギー	小児科
12月11日(木) 14:00~15:00	白内障手術の今 ~最新の眼内レンズと選び方~	眼科
2026年3月12日(木) 14:00~15:00	いまさら聞けない? メタボの知識	内分泌代謝内科



*セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

ゴールデンウィークの診療体制 ゴールデンウィークの診察日は下記の通りです。ご注意ください。

2025年4月28日(月)	29日(火)	30日(水)~5月2日(金)	3日(土)~6日(火)	7日(水)
通常診療	通常診療なし (急患のみ)	通常診療	通常診療なし (急患のみ)	通常診療

住友病院の理念 信頼性の高い医療で社会に貢献

運営方針

- 高水準、良質の医療(高い評価の臨床研修病院)
- 患者さまのQuality of Lifeを重視した診療
- 快適環境
- 豊かな国際性

患者権利

住友病院は以下に掲げる患者さまの権利を尊重いたします。

1. 個人の尊厳が尊重される権利
2. 十分な説明のもとに最善の医療を受ける権利
3. 医療行為に関し、自らの意思で選択する権利
4. 自分の受けている医療について知る権利
5. プライバシーが保護される権利
6. セカンドオピニオンを求める権利



詳細はこちら

今号の広報誌「Sound」の取材に関しては、マスク着用のうえ実施し、撮影時のみマスクを外して行っています。

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20
TEL.06-6443-1261(代表)

【受付時間】8:30~11:30、12:30~15:00

「Sound」には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」©発行人:金倉 謙 ©編集:西野 秀、細島 研一、増田 亮、辻本 一樹、小島 夢輝

「こんなことが知りたい」など、本誌についてのご意見・ご感想を当院ホームページの「お問い合わせ」フォームにぜひお寄せください。よりよい誌面づくりの参考にさせていただきます。住友病院だより【Sound vol.65】2025年4月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

住友病院

住友病院

検索

